



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

栄区制 30 周年記念協賛事業

ふじやま農園収穫祭

タッチーも来るよ 11月12日はみんなでふじやまへ GO.



昭和 62 年に戸塚区から分区し、栄区が誕生して今年で 30 年。
それをみんなで祝うため、今年の収穫祭は 30 周年の協賛事業として開催します。
当日は栄区のゆるキャラのタッチー君も参加。会場内では、参加者と一緒に写真を撮ったり、焼き芋を食べたり？と、楽しさも倍増です。



毎年長い行列ができるふじやま鍋も要チェックです。中に入っている、シャキッとした食感がする見慣れないものは芋茎（ずいき）。これは、農園で採れたアカメという里芋の茎で、一度食べると病みつきになってしまうことうけ合いです。11月12日は、楽しいこと、おいしいもの盛りだくさんのふじやま公園へ。

ふじやま農園収穫祭

日時 11月12日(土) 11時 (雨天の場合は13日に順延)

内容 石焼き芋 100円 先着150名 (引換券は10時半から販売)

ふじやま鍋 100円 先着150名

サツマイモ・サトイモ掘り体験 小学生先着30名

おもしろゲーム 参加賞あります

お楽しみ抽選会 収穫野菜のプレゼント



なることをしたかと、秋の夜長に考えてみたい。

ケヤキ広場の、ケヤキの切り株からのヒコバエが枝を伸ばしている。すごい生命力だ。かつての里山はこうした萌芽更新で維持されたようだが、ここではたった1本でも健気にも次世代につないでいこうとしている。この枝が完全に独り立ちしてこの広場に存在感を示すようになるまでずっと見ていられるだろうか。その観察を次の人たちにお願ひしなければいけないだろうか。それよりも、切られた幹にさまざまな用途があるように何か人のためになることをしたかと、秋の夜長に考えてみたい。

★イスラエルからのお客様が和文化体験



9月26日、文化の相互理解を深め国際交流の一環として来日していたイスラエルからのお客様12名が古民家を訪れました。古民家では典型的な和文化である書道、華道、茶道、着付けを小グループに分かれて体験しました。予定のカリキュラム以外の竹馬にも挑戦していました。更に昼食では、公園のボランティアの手打ちそばに舌鼓を打ちました。異文化体験を超えて異次元の体験だったのではないのでしょうか。準備に参加したボランティアの皆さんもめったにない経験でした。

★障子を張り替えました。正月準備OK！

本当はお正月準備というわけでもないのですが、古民家主屋の正面の障子を張り替えました。南向きでよく陽が当たるので、ちょっと日焼けが目立つような状態でしたので、思い切って時期はずれの張替えを実行しました。子どもたちも破らないように気をつけて下さいね。



昔の道具 「柄杓（ひしゃく）」



柄杓は水などをくむ用具です。木・竹・金属で作った筒または腕状の容器に柄をつけたものです。ひしゃくの語源は古くは瓢(ひさご)を二つに割って使ったことから、ひさごが転訛したといわれています。

柄杓は一昔前まではどこの家庭にもあり、日常生活に必要な水を移し替えたり分配するための大切な道具でした。水道の蛇口から容器に直接入れるのが普通になり柄杓はほとんど見られなくなりました。

今では神社の手水舎(ちょうずば)や、茶道の茶杓、大相撲で力士が取組前に力水をつける、涼をとる散水などに用いられています。古民家では水琴窟の蹲踞(ツバイ)で見ることができます。

ふじやま公園の植物

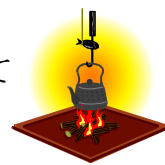
センニンソウ キンポウゲ科

日本全国に分布する常緑ツル性の植物。果実の白い毛が仙人のヒゲにみたてたのが名の由来。畑や森林の境目などに生育する。花期は7月～10月、2～3cmの白い花はたくさん集まって咲き遠くからでもセンニンソウであることがわかる。キンポウゲ科の植物は有毒のものが多く、牛や馬は本能的に食べない。漢方や民間薬として応用されるが一般的には使用しない方がよい。同じキンポウゲ科である園芸種のクレマチスと同属な事から野草のクレマチスとして庭に植栽、楽しむ人もいる。



『いろり辺雑記』から(原文のまま)

お正月に来た時以来です。無事に元気な女の子が産まれました。
梅林の所に雑草が多かったのが残念です。樹がいっぱいで自然を満喫できて
よかったです。(市内30代 家族で)



《11月27日は古民家で江戸演芸を楽しもう!》



江戸古民家のふじやま公園で、落語や太神楽を楽しめる「栄区制30周年記念事業 江戸時代の古民家で“江戸演芸”を楽しむ」というイベントが11月27日(日)に開かれます。

古民家の板の間を高座にしての演芸は大いに雰囲気盛り上げます。出演の金原亭馬玉(落語)は神奈川県生まれ、昨年真打に昇進した期待の若手。翁家と助(太神楽)も若手のホープ。2人の芸が楽しみです。

定員は120名、料金は前売り1200円、当日1500円。公園特製の手打ちそば(50名、300円)、ともに先着順。ご希望の方はお早めに電話かファクスで住所、氏名、人数、電話番号をお知らせ下さい。後日入場引き換えハガキを送ります。締め切りは11月18日(金)です。

《ポイントラリーは12月4日です。》

公園の里山を舞台にした「栄区制30周年記念事業 本郷ふじやま公園散策路を巡るポイントラリー」が行われます。秋の里山を巡りながら、栄区をもっと知ろうクイズをやり、クイズの正答率により賞品が出ます。参加者には餅入りぜんざいのお楽しみもあります。3歳児以上が参加できますので、ご希望の方はふじやま公園まで、往復はがきで。



家族、グループで参加OKです。100名まで、多数の場合は抽選です。締め切りは11月21日(月)です。



28年11月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	4日(金)	古民家歴史部会 部会	13日(日)
農芸部会 部会	21日(月)	古文書解読勉強会	6日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	2日(水)
里山部会 作業	12日(土) 19日(土)	クリーンアップ	1日(火) 15日(火)
	27日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	9日(水)	ふじやまだより編集会議	6日(日)
子ども工作準備	適時	印刷	14日(月)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	10月30日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
初心者茶道 体験教室	11月19日(土)13時～16時	四季を感じながらおもてなしの心を学びましょう、小学生以上 (持参:白いソックス)	500円	10月31日(月) 5名
子ども工作	11月20日(日)10時～11時 〃 13時～14時	松ボックリでクリスマスオーナメントを作りましょう (小学生)	無料	当日受付 各10名
フラワー アレンジメント	11月29日(火)13時30分～ 15時30分	クリスマスのアレンジメント	2,000円	11月12日(土) 8名
簡単 デコパージュ	12月1日(木)13時～15時	冬の絵柄のペーパーをタイルにデコパージュ、2枚作成	1,000円	11月17日(木) 6名
七宝焼	12月6日(火)13時～15時	波形のペンダントを作ります	600円	11月25日(金) 6名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ いろり端むかし話の会

いろりの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか

日 時：11月17日(木) 10時30分～11時30分

場 所：民家主屋いろり端 定 員：15名 当日参加自由 無料

★ 17回栄区民まつりに出展

日 時：11月5日(土) 10時～15時

場 所：本郷中学校校庭

内 容：竹のカスタネット、ペーペー笛の製作と配布、竹炭の販売

★ 栄区制 30 周年記念事業 江戸時代の古民家で“江戸演芸”を楽しむ 詳細は第 3 面

内 容：古典落語、太神楽

日 時：11月27日(日) 13時(開場)～15時30分 場 所：古民家主屋

★ 平成 28 年年内の行事予定

第 15 回古文書講座 11月9日(水) 会 場：あーすぷらざ 9月号で詳細お知らせ済み

ふじやま農園収穫祭 11月12日(土) 詳細は第 1 面

年末餅つき会 12月18日(日) 古民家前庭

門松作り 12月28日(水)

★ 9月ふじやま公園来園者数 9月度来園者数 942名 28年度累計 9,498名

・開 館 時 間：	9時～17時
・入 館 料：	無 料
・休 館 日：	毎月第1水曜日(11月2日)
・ク リ ー ン ア ッ プ：	毎月第1・3火曜日 10時～11時 (11月1日・15日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷 1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593